資料2

料金改定率について

■料金改定率(R6~R8)_資産維持率0.1%

算定期間中に発生する原価(費用)を算定する。

当該原価から、手数料収入や預金利息などの水道料金以外の収益を差し引いたものが、水道使用者から水道料金として受け取る必要がある金額となる。

営業費用

委託料動力費 人件費 光熱水費 減価償却費等

資本費用

支払利息 資産維持費 (10,359千円) 算定期間中にかかる 費用の合計

原価

882,881千円 (約8.8億円) 料金以外の収益 246,437千円 (約2.4億円)

水道料金の 設定 △ 53,473千円

現状の料金表で見込む水道料金

582,971千円 (約5.8億円)

不足額53,473千円を補てんするには約9.2%の改定が必要となる。

■料金改定率(R6~R8)_資産維持率0.5%

算定期間中に発生する原価(費用)を算定する。

当該原価から、手数料収入や預金利息などの水道料金以外の収益を差し引いたものが、水道使用者から水道料金として受け取る必要がある金額となる。

営業費用

委託料動力費 人件費 光熱水費 減価償却費 等

資本費用

支払利息 資産維持費 (51,807千円) 算定期間中にかかる 費用の合計

原価

924,329千円 (約9.2億円)

料金以外の収益 246,437千円 (約2.4億円)

水道料金の 設定 △ 94,921千円

現状の料金表で見込む水道料金

582,971千円 (約5.8億円)

不足額94,921千円を補てんするには約 16.3%の改定が必要となる。

■料金改定率(R6~R8)_資産維持率1%

算定期間中に発生する原価(費用)を算定する。

当該原価から、手数料収入や預金利息などの水道料金以外の収益を差し引いたものが、水道使用者から水道料金として受け取る必要がある金額となる。

営業費用

委託料動力費 人件費 光熱水費 減価償却費 等

資本費用

支払利息 資産維持費 (103,614千円) 算定期間中にかかる 費用の合計

原価

976,136千円 (約9.7億円) 料金以外の収益 246,437千円 (約2.4億円)

水道料金の 設定 △ 146,728千円

現状の料金表で見込む水道料金

582,971千円 (約5.8億円)

不足額 | 46,728千円を補てんするには約 25.2%の改定が必要となる。